

## 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(177) 議事録

日 時	令和元年 10 月 29 日 (火) 18:30~20:45
場 所	閑上公民館 (2 階会議室)
出席者	<b>■</b> 針生勉 <b>■</b> 今野義正 <b>■</b> 阿部ひで <input type="checkbox"/> 今野慎介 <b>■</b> 南部比呂志 <b>■</b> 宇佐美久夫 <b>■</b> 千葉洋子 <input type="checkbox"/> 出雲隆 (事務局)コンサルタント4名
オブザーバー	市職員 震災復興部2名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. ふるさと名取秋まつり出展 3. 閑上地区の新たな組織化に向けて 4. 復興達成後の閑上地区まちづくり 5. その他
資 料	資料-0 次第、第 176 回世話役会議事録案 資料-1 2019 ふるさと名取秋まつり出展計画書、イベントカレンダー 資料-2 針生メモ 資料-3 閑上地区復興活動プロセスの伝承

### ○ 協議要旨

#### 0. 事前確認について

##### <議事録確認>

- ・第 176 回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

#### 1. 情報共有

##### <名取市からの情報提供>

- ・住民交流会や市有宅地の販売状況などが報告された。
- ・災害時の避難活動において新たな枠組みの整理が必要との話があった。(ペット同行避難など)

##### <前回からの動き>

##### <今後の予定>

- ・11月9日にミズベリングで芋煮1グランプリが開催されること等が報告された。

#### 2. ふるさと名取秋まつり出展

- ・出店計画を確認し、当日の進め方を固めた。

#### 3. 閑上地区の新たな組織化について

- ・閑上に係る多くの組織を集め、今後の閑上について意識の共有化を図ることが必要との話になった。

#### 4. 復興達成後の閑上地区まちづくり

- ・助成金の交付が決定し、具体的なスケジュールを今後、検討することとなった。

#### 5. その他

- ・仙台高専からモバイルキッチンカーの作成について案内があり、まち協への協力要請があった。

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は11月19日（火）とする。

次回予定:世話役会(177)11/19(火)18:30～ 閑上公民館会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

#### 0. 事前確認

##### 資料-0 第176回世話役会議事録案

#### <議事録の確認>

- ・第176回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。
- ・県議会議員選挙があったが、閑上出身の候補者は惜しくも落選、今後とも閑上の復興にご尽力いただきたいと思っている。

#### 1. 情報共有

##### <名取市からの情報提供>

⇒11月2日に西地区の住民交流会を開催予定、芋煮会を開催する予定。今後の予定として11月30日に懇親会、12月15日クリスマス会開催予定、保育所で実施できないか検討中である。台風19号襲来時の避難行動において、中央集会所への避難とペット同行避難（ケージ持参しない人が多い）などについては、避難所はあくまでも閑上小中学校であり、実質中央集会所が自主避難所になったことは理解できるが、正式の避難所ではない。近くにお住まいの人が自主避難という形となっているが、指定避難所は避難への準備できているが、自主避難所は準備がない。避難するなどは言えないが、自主的に避難する場合は、個人で避難グッズなどを用意するなどの自主行動が必要となる。ペット同行については認めている。しかし、避難所ごとにルールがあり、場所によっては断られていることもある。施設内への同行は基本的にはできず、外の適当な場所に設置することとしている。名取市の避難ルールは古くて、ゲージの持参を記載していない。しつけやルールの表記もまだないので、他の都市では明示されている場所もあることから、名取市では検討課題である。避難者はなるべく配慮してもらうことが肝要かと思う。(市)

- ・災害の到来は予測されないので早期な対策をとるべきだろう。

⇒ご意見は理解するので、防災関係部局に伝える。(市)

- ・中央団地の集会所は、夜6～8時にあけて避難が始まったが、ペットが家族だとは思いますが、多くの人がいる場所に、モラルを守って避難してもらいたいと思う。空き教室をペット用に開放したが、ペットとの避難の場合のルールを周知するべきだろうと感じた。

⇒おっしゃる通りで、多くの人の中なので、普段からのしつけや用意などが条件で避難できるように取り組んでいきたい。(市)

⇒市有地の販売は、7区画、26人が応募しており、競争倍率は6倍が最高、10月31日に抽選会である。(市)

・工事の状況だが、港北線が年内、中央緑道も開通が早いと思うが。

⇒予定通り整備が早くなっているとは聞いていない。来年の3月の予定は変わっていない。作業置き場なども、必要なので、外形ができてても、全線開通は予定通りだと思う。(市)

・フットパスのペイントが滑るような気がする。仕上げに配慮が必要かもしれない。

⇒確認する。(市)

### 〈今後の予定〉

・11月9日ミズベリング閑上、芋煮1グランプリを行う。まち協も参加できるならお願いしたい。

・地域防災訓練がある。

・チラシを作成し、町中出配布するのかと思ったが、チラシがないようなので、避難訓練が11時10分に終わるので、11時からのミズベリングに微妙に参加できるかどうか。来年以降防災訓練の時期の調整などもしていく必要がある。

・ミズベリングと避難訓練が重なっているなども、今後も検討課題だろう。

・学生も協力してくれるので、今後とも進める方法をしっかりしていくことが必要だろう。

・11月6日に議員懇談会がある。19:00から公民館で開催予定

## 2. ふるさと名取秋まつり出展について

・名取市から配布資料が提供されるので、風船と一緒に配布する方向とする。

・動線はあくまでも予定、こどもには簡単に渡したほうが良いかもしれない。

・まちびらきのイメージポスターは市が用意する。ドラフトを用意。

・式典で流した映像をながしたら？

⇒動画はながす方向で、ディスプレイや電源を用意する。(事務局)

## 3. 閑上地区の新たな組織化について

・針生メモを説明

・東北学院大学もリストに加える。

・商工会の閑上支部も入れるべきだろう。

・農業法人が2つ閑上地内にある。声がけリストには入れるべきだろう。

・閑上ヨットハーバーはいかがか？

⇒代表者は宮城県セーリング連盟の理事長、副理事長兼事務局長が実行委員会にはまちびらきには参加していた。(市)

・なじんでいないような気がする。

・引き込むべきだろう。

・閑上ビーチの利活用とともに、ヨットハーバーも融合していくとよい。

- ・競技施設になっているので、オープンとなっていない。体験会などもあればいいと思う。
  - ・地域と一体なった施設運営もほしい。
- ⇒目指すべき方向が一致しているなら、その方向を議論していくべきだろう。(事務局)
- ・具体的な内容をまとめた方がいいと感じる。
  - ・こういう街になればいいなと取り組んできた。ハードからソフトに移行する時期なので、議論する場集まってほしいとの話を進める方法がいいのでは？
  - ・様々な組織との横断的な関係の中で、まち協が望む取り組みをしていくべきだろう。
- ⇒まち協が寄与してきた具体的な内容を明示していく。成果として何を示してきたが、まち協の取り組み方がイメージできるようにするべきだと思う。(事務局)
- ・まだ、まちづくりとしては未完であり、記録の作成など、今後のまちづくりに一緒に取り組んでいきたいとの方向性を、まち協が発端として、進められれば、何か見つかるような気がする。何回か会議すると、価値ができるような気がする。
  - ・今までの提案を整理し、振り返り、課題を見つけながら、方向性を共有できるといい。
  - ・農業法人などとのタイアップなども、まち協のパイプを使うなども、閑上ブランドのアップの一つとなるだろう。
  - ・花卉生産組合などもある。
  - ・事業者の2代目などに参画を打診すれば、より盛り上がりも期待できる。
- ⇒他の団体の実績を集めることをテーマとして、集めればいいのか？(事務局)
- ・各団体の今後のまちづくりについてのプレゼンという形もいいのか？
  - ・やり方としてはある。
  - ・一堂に集まって今後を議論することも必要。
  - ・いつやるかをアナウンスするならば、団体の方向をまとめる時間も必要なので、趣旨と内容を周知して、呼び込むべきだろう。
  - ・1団体3分などの持ち時間でプレゼンしてもらうなどの方法もある。
- ⇒閑上の資源として、発表してもらう内容を明確にしていくべきだろう。大学などは内容を想定しやすいと思うが。(事務局)
- ・取り組んだ内容を報告してもらうだけでもいい。
  - ・年末までに実施できるスケジュールを検討すべきだろう。
  - ・互いで共有化できるビジョンを探し求めるという意味ではいいかもしれない。
  - ・多くの団体に声がけしていれば、各団体も積極的に参画してもらえらるかもしれない。
  - ・どっとなどは？
- ⇒活動していくとは聞いているが。(市)
- ・まちびらき実行委員会のメンバーには声がけすべきでは？
  - ・観光マップなどの作成についても共有化したい。
  - ・美田園北などの巻き込み方は？
  - ・町内会としては閑上でないのでむずかしい。
  - ・声がけはいいのとは思うが、北鎌で活動しているなど、関係ないとはいえないが。
  - ・やはり閑上ではないだろう。

- ・組織の発足のための準備会を作るという方向だろう。
- ・元閑上の人をどのように受け止めるかは必要だろう。
- ・閑上から出ていった人の意見も重要だろう。
- ・会が立ち上がったときへの参加することはあり得るというように考えた方がいいのでは？
- ・当面は、地元、閑上の関係者で進める方向でいいと思う。

#### 4. 復興活動プロセスの伝承について

⇒資料説明（事務局）

- ・助成金は内定し、団体数が増えたため、少し減額され 18 万 5 千円となった。
- ・審査員から助言として、協議会設立前の状況も含んで整理してもらうことが必要との意見があった。

⇒多くの人から話を受け止めるようにとの助言もあった。（事務局）

- ・復旧復興プロセスを整理する必要がある。
- ・仙台高専で協議会設立以降はできると思う。
- ・それ以前は名取市、PCKK の助言が必要だろう。
- ・まとめるべきだと思ったのは、神戸でアウトプットが説明されたが、それまでの経緯の方が聞いたかった。
- ・案ありきの説明だったのは、揉めた原因ではないかと思う。
- ・日程調整をしていく。

#### 5. その他

⇒社会実験として、モバイルキッチンカーの仕様をイメージしたワークショップをしたいと考えている。今後、日程調整し、まち協の協力もお願いしたいと考えている。できた後の活用方向についての意見などもいただきたいと考えている。（仙台高専）

- ・まち協も協力していきたい。

⇒卒論の発表についても今後検討していく。（仙台高専）

以 上

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は 11 月 19 日（火）とする。

次回予定：世話役会(177)11/19(火)18:30～ 閑上公民館会議室